

証明書の必要な感染症と登園のめやす

麻疹	解熱した後3日を経過してから	髄膜炎菌性髄膜炎	医師により感染のおそれがないと認めてから
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過してから	溶連菌感染症	抗菌薬を内服後、 24～48時間経過していること
風疹	発疹が消失してから	マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること
水痘	すべての水疱が痂皮*化してから 痂皮*＝かさぶた	RSウイルス感染症	呼吸器症状（咳・喘鳴）が消失し、 普段通りの体調であること
おたふくかぜ （流行性耳下腺炎）	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫れが 発現して5日を経過してから、 かつ全身状態が良好になってから	手足口病	解熱後1日以上経過し、 口内炎の影響が落ち着き 普段の食事が摂れること
		ヘルパンギーナ	
プール熱 （咽頭結膜熱）	症状（発熱・咽頭発赤・目の充血）が 消失してから2日を経過してから	とびひ （伝染性膿痂疹）	発疹が乾燥しているか、湿潤部位が ガーゼでおおえる程度のものであること
百日咳	特有の咳が消失してから、 又は5日間の適正な抗菌性物質製剤 による治療が終了してから	ウイルス性胃腸炎 （ノロ、ロタ、アデノ等）	嘔吐・下痢の症状が治まり、 普段の食事が摂れること
結核	医師により感染のおそれがないと認めてから	带状疱疹	すべての水疱が痂皮*化してから
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111）	症状（腹痛、水様便、血便、発熱等）が治まり、 かつ抗菌薬の治療が終了し、48時間あけ連続 2回の検便検査の結果が陰性になってから	ヘルペス性歯肉口内炎	発熱がなく、よだれが止まり、 普段の食事が摂れること
流行性角結膜炎	感染力が非常に強いいため、 結膜炎の症状が消失してから	突発性発疹	解熱し機嫌が良く、 普段通りの体調であること
急性出血性結膜炎	医師により感染のおそれがないと認めてから	りんご病 （伝染性紅斑）	普段通りの体調であること

